

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDSあま校		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		令和6年 10月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの利用者と十分に関わることができ、「自分を見てくれている」という安心感を与えられます。 一人ひとりの発達段階に合わせた支援が提供できます。	事業所側が提示することだけに取り組むのではなく、利用者の意見や要望を聞き、支援内容に取り入れています。 通所の度に担当指導員を変え、異なった視点から利用者の強みや弱み、変化に気付いていくことができるようにしています。	同じトレーニングであっても、利用者により必要な支援をピンポイントで提供できるようにしています。 個別支援計画書において、具体的な課題が設けられている場合は、振り返りを伝えていきます。
2	原始反射の統合に繋がるプログラムが確立されています。 提供できるトレーニング数が多数あります。	利用者の動きの中に、プログラムを自然に入れ込んでいけるよう、タイミングを見逃さないようにしています。 同じ原始反射の統合に向けたトレーニングでも、指導員を変えたり、配置を変えたりするなどし、利用者の視点に立ち予定を立てています。	原始反射の統合を促すトレーニングや、目や手、体の協調性を育むトレーニングを、より利用者が楽しんで取り組めるように工夫しています。 支援記録を通じ、指導員間でそれぞれの関わりを共有できるようにし、偏りの無いようにしています。
3	体調不良等で、ご利用をキャンセルせざるを得なくなっても、ご利用可能日数が無駄になりにくくなっています。	キャンセルが発生した際、すぐにご案内ができるようにしています。	S.I.C.KIDS独自のアプリや公式LINEを活用し、より快適にご利用いただけるよう心がけています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入れ替わりがあり、ご不安に思われる保護者様もいらっしゃるのではないかと。	職員の出産、退職があり、新しい職員が補充されたため。	保護者様とのコミュニケーションを取り、安心して通っていただけるよう務めます。 職員が安定する様、会話を増やすなど職場環境を整えていきます。
2	集団生活での利用者の姿が見えにくい状況です。 大集団での取り組みが難しい状況です。	個別支援に特化しているため。	保護者の要望に沿ってイベント等の開催を検討していきます。
3	出入り口が狭く、保護者との会話をじっくりしづらいことがあります。	建物の構造上、立ち話がしにくいいため。	S.I.C.KIDS独自のアプリの活用をすることで、保護者様への報告を行いやすくしていきます。 じっくり話をされたい場合は、相談室などで面談することを提案してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDSあま校

公表日 令和6年 12月1日

利用児童数 29名

回収数 23名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	1	1		加配職員を現在配置し対応させて頂いております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	4	細かくトレーニングルームを見ていないのでわからない。	今後、タブレット端末を使用して個別で支援の様子を見ていただくことを検討中です。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	1		毎日の消毒作業と清掃、週1回の点検を行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3	0	1		送迎してくださる保護者の方とコミュニケーションを取り、職員同士もトレーニングでの様子などを共有しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	4	前庭覚と言われても、はたして子どもの脳に本当にいいのかわからない。	日々のトレーニングの際、わかりやすい説明ができるようにしていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	4		SICの本部とも情報共有し、具体的な設定ができるよう努めております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	2	すべり台ができないと言ってから結構経つが未だにできていない。S.I.Cでやっていることが本当に効果ができることなのかわからない。	個人差も大きい分野ですが、小さな変化をお伝えできるように努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3	1	4		支援する職員が毎回違うようにしており、トレーニングが楽しめるように工夫しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	4	10	6		ご要望により計画していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		丁寧な説明を心掛けておりますが、ご不明な点はいつでも説明させていただきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	2	7	保護者の会等で意見交換が頻繁にあると良いと思う。	できる限り機会を増やしていきます。ファミフェスは、ご家族で楽しめるものとなっております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	19	2	0	2	やったことは伝えてくれるが具体的にはここの筋力が高まっているなどは伝えてくれない。(いずれできるようになる動きなど)	気づいた点はトレーニング後にお伝えするよう徹底いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	5	0	2	まだ面談等には行ったことがないのでわからない。	定期的な面談は行っておりますが、送迎の際にお話をさせていただくことも可能です。是非お声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	2		共感できるよう努めております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	6	9		父母の会は年に数回計画しております。又、ファミフェスは、ご家族で楽しめるものとなっております。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	3		面談時にお話ししていますが、いつでも対応させていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0	日々職員で情報を共有し意思疎通がしっかりとできるようにしておりますが、引き続き配慮していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	2	SNSやホームページ、独自のアプリでもやり取りさせて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1	プライバシーマークを取得し、規定に沿って運営、研修を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	5	1	5	マニュアルを設定し、定期的な点検・訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	6	1	13	訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	4	マニュアルを設定し、事業所内の玄関に置いて見て頂けるようにしておりますのでご覧ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	1	ささいな傷でも速やかにご連絡するよう努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	2	これからも楽しんで来ていただけるよう工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	0	活動の様子を動画で見れると活動内容がより分かりやすくていいと思います。 （アプリなどで見れるようにして頂けると嬉しいです） 子どもも毎回楽しく取り組めており、先生方も色々な方向からアプローチを下さってありがたいです タブレット端末で個別に見ていただくことができないか、ただいま検討中です。 楽しくトレーニングしてもらっていることは大変嬉しいです。

公表

事業所における 児童発達支援 自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDSあま校		公表日 令和6年 12月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		同時の利用者がいる場合の安全な取り組み場所の確保、集中を妨げることを無ような立ち位置への配慮を適宜行っています。	同時に利用者が多数いると危険が増すので、留意して支援を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5		基準の職員数に加え、加配の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	タイムタイマーや見通しカード、絵カードなどを活用しています。	入口のドアやトイレの段差など、構造上バリアフリーでない場所があります。お子様が慌てて踏かない様にするなど、工夫したいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者が入れ替わるタイミングで、環境整備や消毒を行っています。布の教具は、洗濯をするなど、清潔を保っています。	天井の雨漏り、床のゴムパッキンのはずれなどがあるため、管理会社や施工業者に修繕を依頼しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		利用者同士の様子を見て、指導訓練室を移動することがあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		5	気付いたことはその都度話し合うよう心がけています。	PDCAサイクルを意識していなかったため、まずは目標設定から始めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	-	-		今回初めての自己評価です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所内でミーティングする機会を設けています。また、至急改善が必要な議題は、都度話し合っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	-	-		第三者評価は行っていません。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		年に4回、会社全体の研修会があります。県や自治体等が開催する研修に積極的に参加し、その内容を共有しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムは個別でアプリに配信させていただいています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者様からは面談時にお話を伺っています。利用者からは、支援中の何気ない会話から、本人の求めている事などを聞き出すようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議を行い、利用者の成長や今後の課題について話し合っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		アプリで支援計画の目標を確認しながら当日の支援プログラムを用意しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		インフォーマルなアセスメントは半年ごとに行っています。必要に応じてABC記録を取ることもあります。	フォーマルなアセスメントツールは使用していません。病院などで取ったフォーマルなアセスメントを保護者様からお借りして参考にしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		地域支援・地域連携については、保護者様の声に耳を傾けて進めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		色々な視点からお子様を見て、共有しながら、職員の力を合わせて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎回記録を残し、当日のプログラムを作成する前に振り返ることができるようにしています。お子様がプログラムに参加できるよう、誘い方を工夫したり、やって見せたりしています。同じ指導員が支援を行い続けられない様にしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	コミュニケーション、行動面等の課題の改善や、リーダー性等の長所をのばしていくことができるよう計画を作成し、支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝礼時に打ち合わせを行い、その日の支援内容や注意すべき点について共有しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	終礼にて、共有すべき内容はその日の内に伝達しています。重要度の高い内容は、共有LINEを用いて共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	アプリを活用し、支援後に記録を取り、どの職員でも閲覧ができるよう工夫しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	お子様の様子を児発管に共有し、必要に応じて適宜見直しを行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	職員から情報を集めて、児発管が参加しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	保護者の要望に沿って、保育園などと連携しています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	保護者の要望に沿って、並行利用が実現するように支援しています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者の要望に沿って、情報共有に努めていきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	-	-		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		保護者の要望に沿って、相談の機会を設けるなどしていきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		保護者の要望に沿って、検討していきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	支援終了後に、当日のお子様様子を口頭でお伝えし、保護者様からもお話を伺っています。また、支援内容はアプリで送信しています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	座談会を行い、保護者様の悩みや将来に向けての話などの情報共有を行っています。			
保護者へ	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	体験時、契約時に丁寧な説明を心掛けています。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	モニタリングの機会を設けています。お子様からは、支援中の何気ない会話や様子から、求めている事などを聞きとるようにしています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	モニタリングでお聞きした要望と、目標の関連性をお伝えして同意いただいています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	半年に1度以上のモニタリングの機会には、できるだけお時間を取らせていただくようにしています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	事業所発信の座談会を不定期ですがおこなっている、交流の機会を提供する様心掛けています。		

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談の都度、速やかにお話が伺えるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムやリタリコページのブログなどを利用して、情報発信をさせていただいています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		インスタグラムなどの投稿時には、顔を隠しています。写真については、撮影、掲載共に事前に確認を取っています。書類等は鍵付きの書庫に保管するなど、プライバシーマークの計画に沿って、個人情報の取り扱いには留意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様の発達に合わせて、見通しカードなどを利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		座談会の開催時に、幅広くご参加いただけるよう、地域のお祭りなどの行事の際にお知らせをさせていただきました。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練は年間計画を作成し、順次おこなっています。	マニュアルは作成したものの、周知ができていない状況でした。今後は周知していくように努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPは年に1回見直しを行っています。訓練は年間計画を作成し、順次おこなっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントで伺っています。対応が必要なお子様は、新入社員の入社時に再度共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-		現在対象者がいませんが、必要に応じて実践していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		4月に安全計画を作成し、事務室内に貼りだしています。常にお子様の安全が確保できるよう配慮しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			安全計画を、保護者の閲覧できる位置に保管し、それを周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		終礼時にヒヤリハットを共有しています。休日の職員には、次の出勤時に共有していません。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		入社時には動画研修を行っています。その他、年に1回の研修を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束の可能性があるお子様については、保護者に充分説明を行ったうえで、個別支援計画に記載し、同意を得ています。		